

## メシアの死 どのように預言され成就しましたか。 聖書通信-28

エルサレムの上空に厚い雲がかかり、日の光は遮られ陰鬱な闇が覆っていた。イエスは刑柱に架けられ、その両脇にも悪行者が架けられていた。徐々に肺に水がたまり、その息苦しさを増し加えていたが、イエスは地上に来る前に「人類のために命を捨てる覚悟があるか」という神との会話を思い出していた。このようにして死ななければならないことは覚悟の上であったが、現実を経験してみるとその苦しさは耐えがたいものであった。苦しみの中にあっても、いつもしているようにイエスは聖書の言葉を思い巡らしていた。とりわけ詩編の中に書かれているダビデの苦悩の言葉がよみがえってきた。

詩編18編には次のように書かれていた。

死の綱が私に巻き付き、  
どうしようもない人たちの  
激流に私はおびえた。  
墓の綱が私に絡み付き、  
死のわなに私は直面した。



詩編22編では

私の神、私の神、なぜ私を見捨てたのですか。  
なぜ救ってくださらないのですか。  
なぜ苦悩の叫びを聞いてくださらないのですか。  
私の神、昼に呼び続けても、あなたは答えません。

だが、私は虫けら。人間ではない。  
人々にあざけられ、民に軽蔑された。  
私を見る人は皆、あざ笑う。  
冷笑し、あざけて頭を振る。  
「彼はエホバに身を委ねたのだ。その方に助け出してもらえ。  
救ってもらえ。その方のお気に入りなのだから」。

多くの若い雄牛が私を取り囲み、  
バシヤンの強力な雄牛が私を取り巻く。  
口を大きく開けて私に向かってくる。  
獲物を引き裂くほえるライオンのように。  
私は水のように注ぎ出され、  
骨は全て外れた。  
心はろうのようになり、  
私の奥深くで溶けてしまった。  
私の力は乾き切り、陶器のかけらのようになり、  
舌は歯茎にくっつく。  
あなたは死の土ぼこりの中に私を置く。  
犬が私を取り囲み、  
悪党のように詰め寄ってくる。  
ライオンのように私の手足にかみつく。  
私は自分の骨を全部数えることができる。  
彼らは私を眺め、じっと見つめる。

彼らは私の服を分け合い、  
私の衣服のためにくじを引く。  
エホバ、遠く離れたままでいなくてください。  
私の力である方、急いで私を助けてください。  
救ってください。私を剣から、  
かけがえのないこの命をどう猛な犬から。  
救ってください。ライオンの口から、野牛の角から。  
私に答え、救ってください。

この預言が成就していることをイエスは知っていた。  
イエスは預言が成就していることを民に知らせるために、大声で神を賛美し詩篇2  
2編の一節を語った。

とりわけイエスが注目していたのはイザヤが預言した見捨てられたメシアに関する幻だった。

そこには次のように預言されており、イエスの上にことごとく成就していた。

私たちがから聞いた事に誰が信仰を持ったのでしょうか。  
エホバの力は誰に示されたのでしょうか。  
彼は小枝のように、乾き切った地面の中の根のように、人の前に生え出る。  
堂々たる姿はしておらず、輝かしくもない。  
私たちは彼を見ても、その容姿に引き付けられない。  
彼は軽んじられ、人々に避けられた。  
苦痛を味わうことになっており、病気をよく知っていた。  
顔が私たちがから隠されているかのようにだった。  
彼は軽んじられ、私たちは彼を無視した。  
彼はまさしく私たちの病気を担い、  
私たちの痛みを負った。  
しかし私たちは、彼が災厄に遭い、神に打たれて苦しんでいると考えた。  
彼は私たちの違反のために刺し通され、  
私たちの過ちのために打ち砕かれた。

民は不信仰であり、「彼が災厄に遭い、神に打たれて苦しんでいると考えた。」  
彼が処罰を受けたので私たちに平和がもたらされ、  
彼の傷のおかげで私たちは癒やされた。  
私たちは皆、羊のようにさまよい、  
それぞれの道を歩んでいた。  
エホバは私たち皆の過ちを彼に負わせた。  
彼は虐げられ、苦しめられるままになったが、  
口を開こうとしなかった。  
羊のように、殺されるために連れてこられ、  
毛を刈る人たちの前で黙っている雌羊のようになり、  
口を開こうとしなかった。  
彼は不当な裁きを受けて取り去られた。  
誰が彼の家系の詳細を知ろうとするだろうか。  
彼は地上から除かれた。  
私の民の違反のゆえにむちで打たれた。

悪人と共に墓を与えられ、  
裕福な人と共に葬られた。

何も間違ったことをしておらず、

欺きを語ったこともないのに。  
しかし、エホバは彼が打ち碎かれることを望み、彼が苦しむようにしました。  
もしあなたが彼の命を有罪の捧げ物とするなら、  
彼は自分の子孫を見て、長く生きることになり、  
エホバの望まれることは彼を通して成し遂げられます。  
彼は苦悩の結果を見て満足します。  
私に仕える正しい者は、自分の知識によって、  
多くの人々が正しいと見なされるようにし、  
彼らの過ちを負う。

――  
彼が自分の命を捧げて死をも受け入れ、  
違反者たちの1人に数えられたからである。  
彼は多くの人の罪を担い、  
違反者たちのために仲裁した。 (イザヤ53章)

イエスはまさにその預言が成就していることを実感していた。  
不信仰な民はイエスをののしっていたが、サタンによって盲目にされていることを理解していた。しかしその悪行の報いを受けなければならないことも知っていた。

彼らの上に臨む災いを思い見て、イエスは暗澹たる思いとなった。  
(実際に70年、彼らはローマ軍によって非常な災厄を被るのである。)

しかしイエスに信仰を働かせる人は、罪からの解放、そして永遠の命に至る道が開かれるのである。

それを思う時、イエスは非常な苦しみの中にも真の喜びを見いだすことが出来た。

彼は「成し遂げられた」という言葉とともに息絶えた。

イエスはイザヤが預言したように、悪行者とともに刑柱に架けられ、富んだ人のように真新しい立派な墓に葬られたのである。

-----  
イエスは生前、民に「ヨナのしるし以外は与えられない」と語っていました。

「ヨナのしるし」とは何でしょうか。  
ヨナはある理由から海に投げ込まれ、3日3晩魚の腹の中で過ごした後、再び地上に生還した預言者でした。

同様にイエスも墓の中に死者として横たわり、3日目によみがえることが出来たのです。

今イエスは天で王として神の右の座に座しておられ、まもなく地上を治めます。

あなたはそれを信じておられるでしょうか。

確かな証拠が増し加わっています。  
今回はその点に注目してみましょう。



イエスは死後3日目によみがえり今は天におられる